

活用されています
共同募金配分金



今年も皆様から多大な募金をいただきました。これは平成20年度に配分され活用されます。この社協だよりは昨年の共同募金の配分金によって発行されています。寄付された方にも、募金のご協力者にも、ありがとうございます。

やさしい心を育てるために 地域・学校・家庭は何ができますか

～地域に育つボランティアの心～

今年は28回目、やさしい心を育てる懇談会(福祉教育懇談会)
11月10日(土) 飯山小学校で



市内23団体からなる福祉教育推進協議会は、今年度当初から内容の検討を重ねて来ましたが、地域・学校・家庭が相互に連携を深め、お互いの取り組みや関連する情報を交換することで「思いやりの心」を育む福祉教育を進めようと開催されたものです。お忙しい

中を211名の方に参加いただきました。全体会がランチルームで開かれ、今年は2名の方に事例をお聞きし、その後7つの分散会に分かれて具体的取り組み等について話し合われました。事例発表

飯山小学校 安全支援ボランティアの取り組み

飯山小学校教諭 小林茂美氏



児童の登下校時等にける安全を見守ることによる児童の安全の確保を図るとともに、地域の方々に支えられて安全・安心な生活

をしているという実感を持つ児童を育成することが目的。安全ボランティアの方には腕章をしていただき、見守り、声かけを行ってもらっている。平成18年から活動が始まった。

学生ボランティアグループ「FPI」の取り組み

FPI協力員 荒井智則氏



市内でボランティア活動をしている高校生や福祉に関心のある若者を中心に、地域の中でいろいろな仲間の輪を広げながら、自分達が計画し、できる活動を主体的に進めている。平成15年から活動を続けている。

提案(各分散会から)

- ・「やさしさ」の基礎はこの地域はできている。いかに実践につなげていくか。
- ・やさしさだけでなく、強さ、正しさも必要であり、感謝の気持ちを表すことも必要。
- ・家庭の役割はとても大切。やさしさに触れなければやさしさは生まれにくい。総合的な躰の中からやさしさは生まれる。
- ・子どもにやる気があっても親が後押しできない。どう接していくか。
- ・大人にも子どもにもボランティア活動がよい体験の場となることを知った。
- ・地域の力も大事。親の目の届かない所で見えてくれる地域の目があると思うと安心。家庭へ遠慮せず、問題提起してくれる地域(次ページ4段目に続く)

ご寄付ありがとうございました

福祉巡回車が 生命保険協会から



長野県生命保険協会では、毎年県下生命保険会社20社の営業職員・代理店などの約5000名の寄付を生命保険の月(11月)に福祉巡回車として寄付し今年で17年目、31台の寄付となつていくとのこと。11月9日、今年は飯山市社協へご寄付いただきました。介護を要する方へのサービス向上に使わせていただきます。

郵便局から 車イスが寄贈



(財)信越特定郵便局長協会から郵便局(株)瑞穂郵便局を通じ飯山市社協デイサービスセンター瑞穂へ、車イスの寄付がありました。11月30日、贈呈式が行われ、早速乗り心地を確かめてみる利用者さんもありました。大切に使用していきたいと思えます。

河藤たつ千代社中 華やかなチャリティ 舞踊ショーから

11月18日、河藤たつ千代社中の皆さんのチャリティ舞踊ショーが飯山市民会館で開催され、華やかな舞台の後、飯山市の福祉のためにと善意銀行に10万円をご

歳末援護托鉢 共同募金へご寄付

11月9日、飯山仏教各宗和合会9人の僧侶により歳末援護托鉢がおこなわれ、共同募金へ12万4千余円のご寄付をいただきました。



◎河藤たつ千代社中チャリティ舞踊ショーのフィナーレは「もみじ」でした。

力。きびしさもやさしさも教えていく。それぞれの思いを大事にして地域の子ども達に自然体で接したり、褒めたりして、子ども達の心が開くように子ども達を見守っていくことが大切。

・区や団体の行事に、子どもにも役割を持たせていくことが大切。
・「あいさつ」を通して、地域の子どもにとつての顔見知りの大人になろう。
・学校の授業の中で、先生からだけでなく地域の人からその人の得意な分野のことを子どもにも伝えることはできないか。
など、意見が多く出されました。参加された方には、分散会の内容が報告されます。



7つの分散会に分かれて、同じテーマで意見交換されました。委員の皆さんも参加者も真剣。自分のことや子どものことをこんなに考えた会議は、今までなかった!と言われたお母さんもありました。